新潟市立両川中学校だより

両 中 四 季

令和８年１０月１３日　第６号

後期スタートに当たって頑張ってほしいこと

（後期始業式より抜粋）

１つ目は、**「中学生という今しかできない体験に挑み、自分の力を伸ばすこと」**です。部活動の地域展開が始まって半年が経ちました。この半年を振り返り、放課後や休日にスマホゲームや動画を見続けて、ただ時間が過ぎていくだけになっていませんか。ゲームやスマホ自体が悪いわけではありません。しかし、二度と戻らない貴重な中学時代を、画面の前だけで過ごしてしまうのは非常にもったいないことです。部活動という枠組みにとらわれず、スポーツや文化活動、地域のボランティアなど、「今だからこそできるリアルな体験」は数多くあります。人と関わり、汗をかき、失敗しながらやり遂げる実体験の中で身につけた力は、かけがえのない財産になります。学校でも新しい放課後活動がスタートしています。学年や性別の垣根を越え、活動を通して仲間の良さを認め合う「共生力」と豊かな発想と主体的な行動で新しい価値を生み出す「創造力」を、ぜひ伸ばしてください。

２つ目は、**「ふたかわ祭の探究発表を最高の形に仕上げること」**です。 皆さんは中間発表を終え、いよいよ最後の仕上げの段階に入りました。ここから本番までに最も重要なのは、「他者の意見やアドバイスに素直に耳を傾けること」です。中間発表で仲間や先生からもらった指摘は、自分の探究をさらに深く磨き上げるための宝物です。「自分の考え」だけにこだわらず、多角的な視点を取り入れてアイデアを再構築していきましょう。正解のない問いに向き合い、納得いくまで調べ上げ、自分の言葉で届ける。この「探究力」こそが、今年度両川中が最も力を入れているものです。本番では自信を持って発表し、中学生らしい頼もしく清々しい姿を地域の方々や保護者に示してください。

１年生の皆さん。中学校生活に慣れてきた今だからこそ、毎日の授業や提出物、規則正しい生活習慣といった「学びの土台」をより確かなものにしましょう。土台が強固であってこそ、学習でも挑戦でも大きな花を咲かせることができます。基礎を大切に、一歩一歩確実に取り組みましょう。

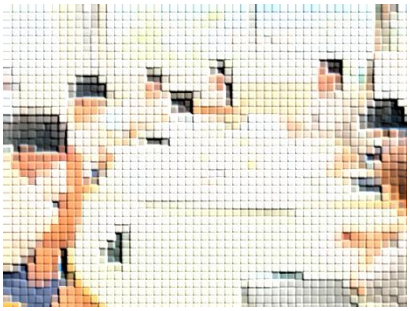
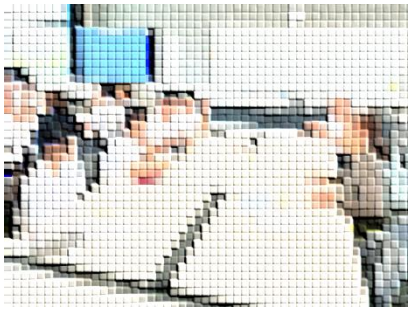
２年生の皆さん。学校の中心を担う大切な時期を迎えます。流されるままに過ごしたり、目先の楽しさに逃げたりする時期は終わりました。時間の使い方を見直し、探究活動や放課後活動の企画など、「本当に価値があるもの」に主体的に取り組んでください。81年目を迎える来年度の両川中は、これからの皆さん一人一人の自覚にかかっています。

３年生の皆さん。いよいよ進路実現に向けた本格的な挑戦が始まります。自分の未来と真摯に向き合う皆さんの背中は、後輩にとって何よりの手本となります。これまでの学びや探究の成果を圧倒的な熱量で発表する姿、そして日々の責任ある立ち振る舞いで、最高学年としての生き方を示していってください。

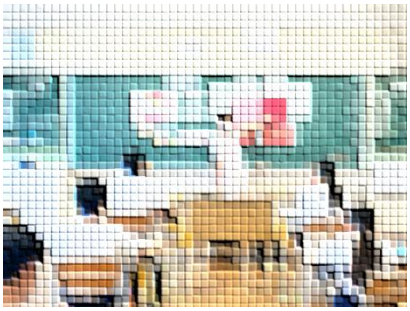
９月の生徒の活躍

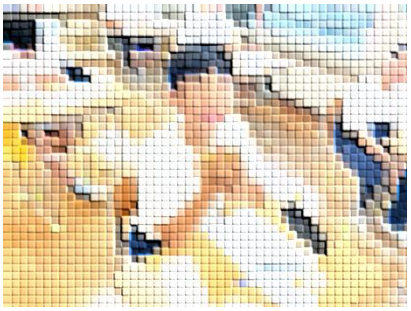
◇放課後活動（８月 31 日）ドッジボール◇

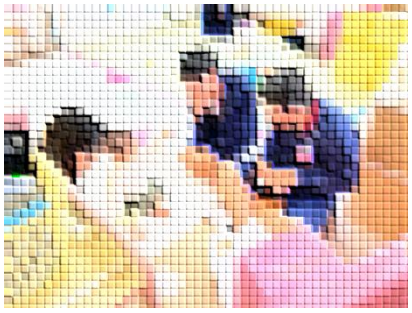
◇第２回コミュニティスクール（９月７日）３年生参加◇

◇１年生歯肉炎予防教室（９月９日）◇





◇探究発表リハーサル（９月 18 日）◇

◇３年保育実習（10 月６日）◇